

まちづくり体験塾

～一歩進んだ財政の見える化～

まちの財政状況

1R

ふせん紙仕訳
ゲーム

バランスシート
探検隊

SIM2030
パソコン

愛媛県砥部町では、平成28年8月19日(金)、
20日(土)の2日間に渡り「まちづくり体験塾」を
開催しました。

このイベントは、

- ⇒まちの財政状況や人口ビジョン、将来の見通しを見ながら財務諸表を確認
- ⇒公共施設の老朽化、更新問題について実際に公共施設を巡って考える
片手にはレクチャーノートを持っているが、これは、簡単な施設別財務諸表である
- ⇒レクチャーノートの数字が意味するものは何か、ふせん紙仕訳ゲームで仕訳
から財務諸表が出来るまでを体験する。そのため、施設別財務諸表の理解も
進む
- ⇒松山大学経営学部溝上ゼミからは、企業の会計と公会計の違い、選挙の
とき公会計を知ることはマニフェストを読む力に繋がるのではないかと
研究成果を発表してもらった
- ⇒最後は、SIM2030。これまで得た知識を活かしながら、どの施設や事業の
優先順位が高いのか、参加者が架空のまちの幹部職員となり幹部同士
が対話を重ねながらまちづくりを考えていく。事業を実施するのか、しないのか
借金をするのか、しないのか、議会対応も経験しながら10年後までの予算を
成立させる。

1 準備

平成28年6月、松山大学経営学部溝上ゼミの生徒67人に、公会計の話をして頂いた。その中から、砥部町の「まちづくり体験塾」に参加してくれる生徒が決定した。このとき、選挙も近かったので、公会計を知り、マニフェストを読んでみようといった話もさせて貰った。ちなみに、同月初めには、松山大学法学部の200人弱の生徒にも公会計の話をしてもらっている。



2 8月19日(金)初日

まずは、まちの財政状況や人口ビジョン、将来の財政見通しなども見ながら財務諸表を確認。レクチャーノート(簡単な施設別財務諸表)を片手に公共施設を巡る。ただし、見学のその前に、仕訳からどのようにして財務諸表が出来るのか、ふせん紙を使って仕訳から財務諸表が出来るまでを体験する。

バランスシート探検隊

レクチャーノート


平成28.8月
愛媛県松山市

37

2. 宮内幼稚園

資料枚数 76.62

構造:地上1階 鉄筋コンクリート造
延床面積:489㎡
建築年月:昭和53年(第14号)
取得価格:7058万円(国庫)
耐用年数:47年
一年当たりのコスト:4309万円
一年当たりの稼働料収支入:526万円



②400万円の家を建てました。借金200万円と現金200万円で支払いました。

- 400万円の家を建てたので資産増
- 200万円の借金をしたので負債増
- 200万円の現金を支出したので資産減

仕訳の定款	
借方	貸方
資産の増	負債の増
負債の減	純資産の増
純資産の減	負債の減
資産	収益

※ふせん紙は3枚使ってください。

資産増		負債増	
建物	400万円	借金	200万円
		資産減	
		現金	200万円



バランスシート

資産増 土地 500万円	負債増 借金 200万円
資産増 建物 400万円	
+	
資産増 現金 50万円	
+	
資産増 現金 700万円	純資産増 純資産 700万円
+	
資産減 現金 500万円	純資産減 コスト収支赤字 50万円
+	
資産減 現金 200万円	
+	
資産減 現金 100万円	
850万円	850万円



2 8月19日(金)初日

午後からは、実際に公共施設を巡った。

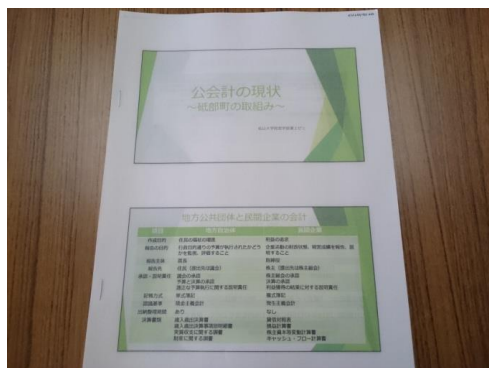
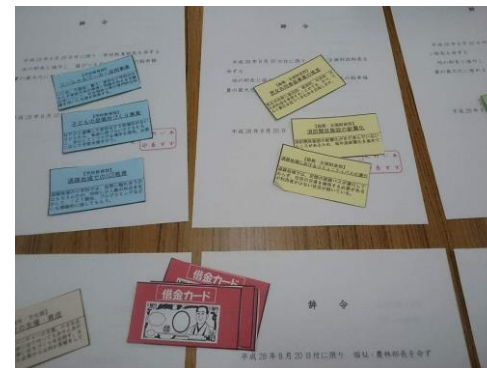


3 8月20日(土)2日目

参加者全員で消防を見学。子どもたちも一緒になって、防災・減災、安心・安全にどれくらいのお金が必要なのかを勉強。地震体験車や救急車、消防車に試乗、さらには災害時に役立つロープの結び方なども体験。子どもから大人まで興味津々。



松山大学溝上ゼミの研究発表。そして、いよいよ最後のプログラムとなるSIM2030。2日間で得た知識をフル活用した。





4 協力

JAGA(公会計改革推進ネットワーク)
松山大学経営学部溝上ゼミ

5 参加協力(五十音順)

伊予銀行

愛媛銀行

えひめ中央農業協同組合